

ネパール政治ニュース (17年9月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 4日、連邦下院選挙及び州議会の実施に必要な選挙法2件が立法議会にて成立した。これで、上記選挙の実施に向けた法体制が整備されたこととなる。</p> <p>(2) 6日、第3回地方選挙の立候補受付が行われ、36,073人から届出があった。第3回地方選挙が実施される第2州の基礎データは、①地方自治体136(内訳:主要都市1、副都市3、市73、村落委員会59)、②投票者2,664,950人、③被選挙ポスト6,627、④投票所3,578である。</p> <p>(3) 11日、デウバ首相は新たに4閣僚(3大臣と1国務大臣。いずれも国民民主党(民主)(RPP-D)所属)を決定した。デウバ内閣は国務大臣を含め54名の規模となった。</p> <p>(4) 12日、来る連邦下院・州議会選挙の比例代表制において、88政党が選挙管理委員会に選挙登録した。</p> <p>(5) 18日、第2州において、第3回地方選挙が実施された。これまでの地方選挙同様、今次選挙も概ね平穏かつ整然に実施された。</p> <p>(6) 19日、選挙管理委員会は、第3回地方選挙の投票率が77%であったと公表した。最も投票率が高かったのはロウタハ郡の80.4%、最も低かったのはマホッタリ郡の73.3%であった。</p> <p>(7) 19日、デウバ首相は、新たに2閣僚(2国務大臣いずれもRPP-D所属)を決定した。デウバ内閣は国務大臣を含め56名の規模となり、歴代内閣で最大となった。</p> <p>(8) 25日、立法議会において、民法及び民事訴訟法が可決・成立された。なお、両法とも施行日は2018年8月17日と定められている。</p> <p>(9) 27日、選挙管理委員会は、第2州における地方選挙の開票結果を公表した。市長・村長の獲得議席数は、ネパール・ कांग्रेस (NC) が第1位、連邦社会主義フォーラム・ネパール (FSFN) が第2位、国家国民党 (RJP-N) が第3位、ネパール共産党マオイスト・センター (MC) が第4位、ネパール共産党統一マルクス・レーニン主義派 (UML) が第5位となった。</p>
外交	<p>(1) 4日、中国政府関係者は、訪中しているネパールのメディア関係者に対し、一帯一路構想に対するネパールのコミットメントについて懐疑的な見方を示した。本年5月に北京で開催された「一帯一路国際協力ハイレベルフォーラム」のネパールからの出席者が副首相レベルであったことや、一帯一路構想関連プロジェクトの遅い進捗が原因。</p> <p>(2) 6日、マハラ副首相兼外務大臣は、在広州ネパール総領事館開設等のため、5日間の日程で中国を訪問した。</p> <p>(3) 19日、デウバ首相は、憲法公布記念式典の終了直後、国連総会出席</p>

	<p>のため、ニューヨークに向け出発した。マハラ副首相兼外務大臣が同行した。</p> <p>(4) 23日、デウバ首相は、国連総会にて一般討論演説を行った。</p> <p>(5) 25日、デウバ首相は、3日間の日程（28日迄）で、オマーンを公式訪問した。</p>
--	---